

科目名	音楽教育演習 I	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	柴田 篤志	単位	1	年次	2

### ＝授業科目の目標＝

中学校音楽科の歌唱共通教材（七曲）を教材として音楽授業が展開できるだけの知識と技能を身につけます。具体的には全パートを楽譜を見ずに歌う、伴奏しながら範唱する、歌詞の意味を説明する、この三つを“生徒の状態を判断しつつ”いろいろな方法で提供できるようになることが目標です。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

音楽科教育法 I の授業を履修している、もしくは単位取得していること。履修人数によって異なりますが、全員が七曲を最低一度は指導する機会を得られるように課題を与えます。宿題となるケースもありますが、多くはその場で与えられた課題に即応することを求めます。教材曲の取り上げる順番はあらかじめ示しますので、目標に書いた三項目は最低こなせるような準備をしておいて下さい。

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 夏の思い出 1
- 3回 夏の思い出 2
- 4回 浜辺の歌 1
- 5回 浜辺の歌 2
- 6回 赤とんぼ 1
- 7回 赤とんぼ 2
- 8回 早春賦 1
- 9回 早春賦 2
- 10回 花の街 1
- 11回 花の街 2
- 12回 荒城の月 1
- 13回 荒城の月 2
- 14回 花 1
- 15回 花 2

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

演習ですので、授業の中での課題をどのようにこなしたかが成績評価になります。自分の担当回がそのままテストだという意識で参加して下さい。最低テストを七回受けることになります。履修者の技量にあわせて課題の難度や、課題の回数などは変わります。明確に宿題となった課題の場合、評価の基準は厳しくなりますので注意して下さい。

### ＝テキスト（必携）＝

《No. 1》

書籍名：中学生の音楽 1

出版社：教育芸術社

《No. 2》

書籍名：中学生の音楽 2・3 上

出版社：教育芸術社

《No. 3》

書籍名：中学生の音楽 2・3 下

出版社：教育芸術社

《No. 4》

書籍名：中学音楽 1 音楽のおくりもの

出版社：教育出版社

《No. 5》

書籍名：中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの

出版社：教育出版社

《No. 6》

書籍名：中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの

出版社：教育出版社